

折尾愛真

NEWS LETTER



2011年 2月
13号 Vol. 39

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 Since 1935 (昭和10年)

地域の皆様に支えられ、創立75年を迎えました。

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専科コース
- 製菓衛生師コース

看護科

第3回教育講演会

今年度最後の看護科教育講演会が、1月28日(金)パターソンホールにて1年～3年生までの看護科生を対象に行われました。聖マリアンナ医科大学病院副院長・看護部長の高橋恵先生を講師にお招きし、「今、求められる看護とは」と題して講演をして頂きました。



講演中の高橋恵先生

特別進学コース

センター試験終わる!

1月15日(土)～16日(日)の2日間、国立大学への第一関門であるセンター試験があり、生徒が受験しました。小雪舞中、会場となった九州国際大学では最後まで参考書を見ている生徒の姿が印象的でした。2月下旬に始まる2次試験で、全員が第一志望校に合格できる事を願っています。

健康福祉コース (平成23年度より)

第23回介護福祉士 国家試験終わる!

1月30日(日)、第23回介護福祉士国家試験が国際会議場で行われ、18名が受験しました。毎年、年末より集中的に国家試験対策講座を続け高い合格率を上げている本校の教育に加え、恒例の先輩方による激励のエールを受け自信を持って臨んでいました。結果は、3月下旬の予定です。

美容専科コース

特別実習

1月15日(土)特別実習として、福岡美容専門学校によるデモンストレーションと実習指導が行われました。特に、鈴木精友さんは沖縄で行われた第2回全国理容美容学生技術大会に県代表として出場した腕前を持ち、生徒達も全国レベルの技術に魅了されていました。



指導中の鈴木精友さん

製菓衛生師コース

和菓子実習 (2年生)

1月13日(木)～17日(月)の3日間、2年生が和菓子実習に臨みました。毎年、小倉南区の和菓子店「しげや」の星野茂夫先生をお招きしての特別実習には生徒達も真剣に取り組んでいました。



卵黄とあんこを混ぜて、メレンゲとモチ粉を合わせたものに、羊かんを乗せた「うきしま」の制作に取り組んでいました。

予餞会

2月4日(金)、3年生に卒業を祝って在校生による予餞会が行われました。趣向を凝らした出し物に3年生は大きな声援をおくっていました。特に、先生方によるパフォーマンスには、日頃厳しい先生方のやさしい一面を見る事ができ思い出に残る一日となりました。



折尾愛真株式会社



銘菓「おりをろまん」
3月20日発売予定!

新たな商業教育の実践的な学習を行うために、2年前に商業コースと製菓衛生師コースとの合同で「折尾愛真株式会社」(模擬会社)を設立しました。今回、折尾の地域に密着したお菓子を作るプロジェクトとして折尾商連さんとの合同で新商品の開発に取り組み、この度販売する運びとなりました。このはたらきが地元地域の活性化につながる事を願っています。



お知らせ

一月十三日(木)
に行われた
交歓会
賀詞



第61回(通算75回)卒業証書授与式

日時:平成23年3月3日(木) 10:00~
場所:パターンソンホール 講堂4F

第40回専攻科卒業証書授与式

日時:平成23年3月7日(月) 10:00~
場所:短期大学 礼拝室

第4回吹奏楽定期演奏会

日時:平成23年3月5日(土) 18:00~
場所:中間ハーモニー・ホール

新入生入学説明会

日時:平成23年3月17日(木) 13:30~
場所:パターンソンホール 講堂4F

新入生保護者説明会

日時:平成23年3月18日(金) 13:30~
場所:パターンソンホール 講堂4F

ハンドベルコンサート2011

日時:平成23年3月15日(火) 18:30~
場所:千草ホテル
演奏:折尾愛真ハンドベルクワイア
フローラル・ベルクワイア

各種検定試験

各種検定試験があり、多くの生徒が受験しました。

日程	検定名	受験者数	科・コース
1/23	簿記実務	192名	商業
1/29	漢字	239名	普通・看護
1/30	全商情報処理	169名	商業
2/12	パソコン入力スピード	180名	普通・商業

全国大会出場 おめでとう!

男子テニス部 博多の森テニス競技場
第33回 全国選抜高校テニス大会(3年連続3回目)
平成23年3月20日(日)~26日(土)

新体操部 大阪市中央体育館
第26回 全国高等学校新体操競技大会(17回目)
平成23年3月24日(木)~26日(土)

留学を終えて

韓国・ドイツからの留学生5人が一年間または5カ月間の留学生生活を終え、1月29日(土)帰国しました。1月26日(水)には送別礼拝が持たれ、それぞれ日本での生活を振り返り感謝と貴重な体験をした喜びを述べていました。



「折尾歴史探訪」

第18回 則松鉾泉跡

寛永年間、黒田藩の老臣井上周防之房の家臣として則松地域の与力を勤めていました大野勘右衛門は、寛永十四年(1637)に起こった島原の乱で二人の息子は戦死し、一度に愛息を失った悲嘆は大きく、世の無常を感じ、三省と号し三省山松月院の小庵を建て二人の息子の霊を弔っていました。ある日勘右衛門は地域を見回っておりました折、一羽の鶴が田の一隅に舞い降りて、湧き出る清水に足を浸しているのに気が付きます。その鶴をよく見ますと、足が傷ついていました。鶴は気持ちよさそうにその清水に傷ついた足を浸して癒しています。その鶴は十数日間飛んできて、傷を癒し、上空を一周して飛び去っていったと云います。この清水が鉾泉で、正願給清水といって当時の村人に重宝がられていました。これが後日の則松鉾泉で、火傷、切傷、腫物に特効があると云われて、昭和の初期ごろ迄、鉾泉宿も数軒建ち、賑わっていました。

戦中は石炭産業の増産政策によって、坑道が走り清水は涸れて、現在はその跡を訪ねる事もできません。

跡地は則松六丁目六番地六番地辺りと云われます。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>